

アフリカ 11 ヶ国の開発金融機関職員が 市原市の鉄道関連企業を視察

～10月4日(金)「林総事株式会社」市原工場を訪問～

研修参加のために来日中のアフリカ 11 ヶ国 13 名の開発金融機関職員(※1)が、千葉県市原市の林総事株式会社市原工場を訪問し、同社が南アフリカ共和国で取り組む、座屈防止板(※2)導入による線路の効率的な維持管理を目指す事業の概要(※3)、今後の展開について説明を聞くとともに、工場を見学します。



この機会にぜひ取材・報道をご検討ください。なお、取材をご希望の場合は、恐れ入りますが下記問い合わせ先まで事前連絡をお願いいたします。

※当日は、研修監理員が同行し、通訳(英語)を行います。

【取材が可能な日・視察先】

日時:2019年10月4日(金)15:30～16:15

視察先:林総事株式会社市原工場(千葉県市原市うるいど南4-3)



※1: 研修概要

研修コース名: JICA課題別研修「南部アフリカ地域開発金融機関の強化」

研修期間: 2019年9月18日(水)～2019年10月12日(土)

参加国: アンゴラ、ボツワナ、エスワティニ、レソト、マラウイ、ナミビア、南アフリカ共和国、タンザニア、トーゴ、ウガンダ、ジンバブエ(11か国13名)

研修委託機関: 公益財団法人 国際通貨研究所／一般財団法人 日本国際協力センター

※2: 座屈防止板は、まくらぎ両端面に取付けてまくらぎ横方向の抵抗を増大させ、座屈を防止するものです。

※3: 事業概要

鉄道関連用品等の製造を行う林総事株式会社は、南アフリカ共和国が抱える鉄道路線の老朽化問題に着目し、2016年10月から2018年6月までJICA 中小海外展開支援事業(案件化調査)にて、座屈防止板導入による線路の効率的な維持管理に係る調査を実施しました。調査を踏まえた当該技術の普及に向けた同社の事業提案は、さらに同支援事業(普及実証事業)のインフラ整備技術推進特別枠にて採択され、現在「先進的軌道保全技術(座屈防止板)導入による脱線等の軌道事故を防止するための普及・実証事業」を準備中です。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東京 産業開発・公共政策課 丸川 櫻子

TEL:03-3485-7635 E-mail: Marukawa.Sakurako@jica.go.jp